

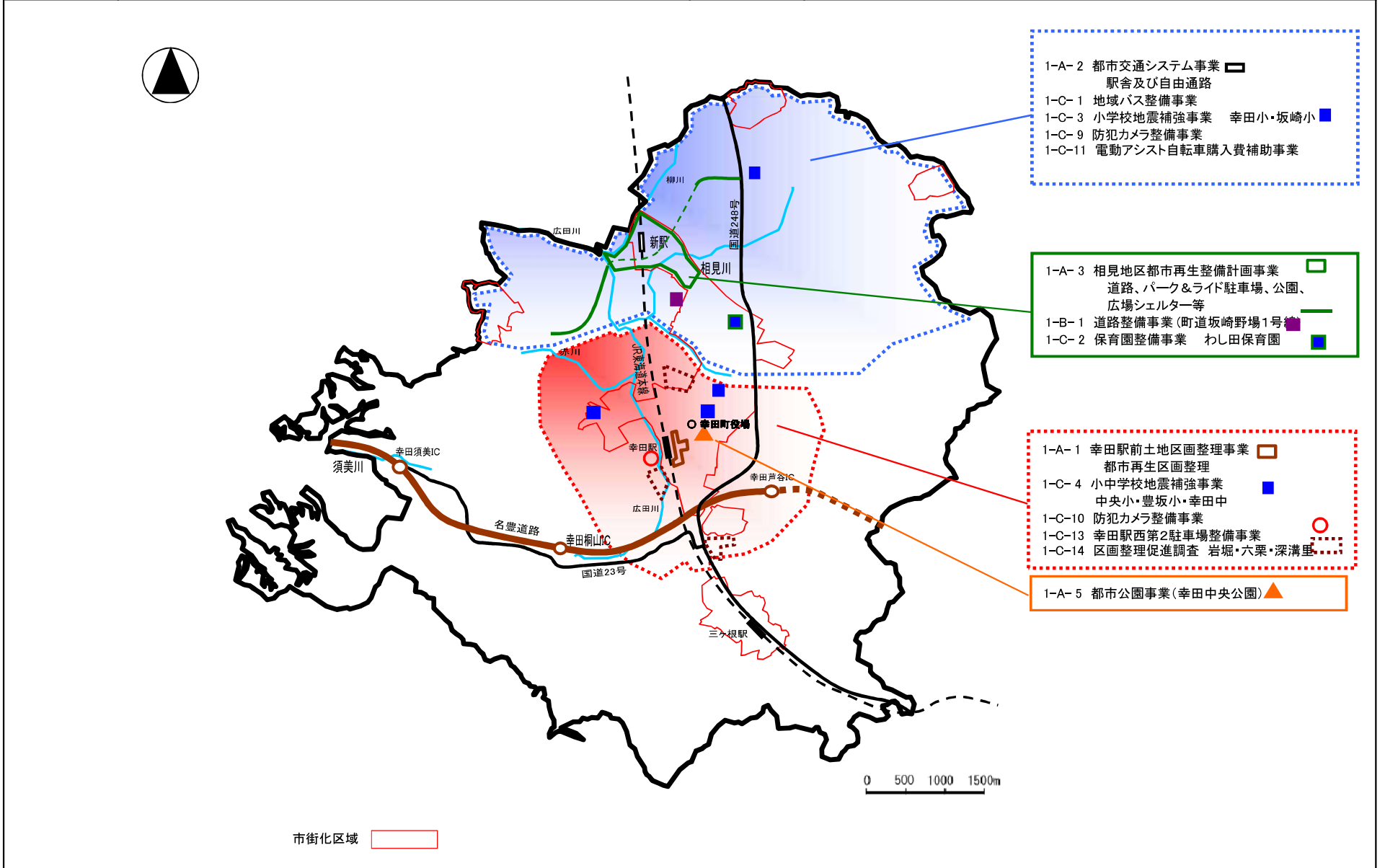
社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成26年3月28日

| | | | | |
|--------------|---|------------------|------------------------|----------------------------------|
| 計画の名称 | コンパクトなまちづくりを進め、中心市街地のにぎわいの再生・創出と安全安心なまちづくりを実現する。 | | | |
| 計画の期間 | 平成22年度～平成26年度（5年間） | | | |
| 計画の目標 | <p>総合計画で位置づけられた3駅プラスワンのまちづくり都市核としてコンパクトでまとまりのあるまちづくりを進めるため、都市計画マスタープラン、都市交通マスタープラン、総合交通戦略等を策定した。都市構造として、二酸化炭素排出量の低減を図るとともに、駅周辺に人を誘導することにより、交流人口も呼び込み、中心市街地のにぎわいの再生・創出を図る。併せて、防災機能等を向上させ安全安心で、快適なまちづくり施策をすすめるよことにより、住みたいまちとして選択され定住者の増加を目指す。既に動きだしている施策としては、既存の中心市街地では、駅周辺区画整理事業を実施し、駅前商業集積を予定し、併せて、隣接する既存市街地についても区画整理に向けた動きを続けている。また、新駅周辺では、土地区画整理事業により、新市街地整備を進めており、地域住民と一体となったまちづくりへの取り組みも進めており実現に向けた機運が高い。</p> | | | |
| 計画の成果 | 目標（定量的指標） | 定量的指標の現況値及び目標値 | | |
| | | 当初現況値 (H22当初) | 中間目標値 (H24末) | 最終目標値 (H26末) |
| | ・幸田駅、新駅の中心市街地における歩行者自転車交通量を1,564人/日(H21)から2,000人/日(H26)に増加 | 1,564人/日 | 1,800人/日 | 2,000人/日 |
| | ・減少傾向に転じた町内の駅合計の乗降客数を5,296人/日(H21)から5,450人/日(H26)に増加 | 5,296人/日 | 5,350人/日 | 5,450人/日 |
| | ・町全体での住民意識調査において、幸田町の住み心地満足度は83.5%(H21)と高い数値となっている。しかし、近年進む新市街地供給により、コミュニティ形成がうまくいかないことなどの理由から、新市街地の新住民が「住みにくい」と感じるまちが形成され、この住み心地満足度が低下することが予想される。しかしながら、コミュニティ形成や、安全安心につながる施策を実施することにより、新市街地においても、「住みやすい」まちを実現していき、住み心地満足度85.0%を目指す。 | 83.5% | 83.5% | 85.0% |
| | ・全国的に人口減少が始まる中、町内人口を37,432人(H22)から38,432人(H26)へ1,000人の増加 | 37,432人 | 37,932人 | 38,432人 |
| | ・町営のパークアンドライド駐車場における町外の定期利用者数を39台(H22)から80台(H26)に増加させることにより、名古屋、刈谷方面等へ長距離自動車通勤している方の鉄道利用への転換を誘導する。 | 39人 | 40人 | 80人 |
| 交付対象事業 | | | | |
| A 基幹事業 | | | | |
| 番号 | 事業種別 | 事業者 | 対象事業 | 事業の内容 |
| 1-A-1 | 都再区画 | 幸田町 | 幸田駅前土地区画整理事業 | 都市再生区画整理 |
| 1-A-2 | 交通 | 幸田町 | 都市交通システム整備事業 | 新駅駅舎及び自由通路設置 |
| 1-A-3 | 都市再生整備計画 | 幸田町 | 相見地区都市再生整備計画事業 | 駐車場、道路、公園、広場シェルター等 |
| 1-A-5 | 公園 | 幸田町 | 都市公園事業 | 幸田中央公園用地 |
| B 関連社会資本整備事業 | | | | |
| 番号 | 事業種別 | 事業者 | 対象事業 | 事業の内容 |
| 1-B-1 | 道路 | 幸田町 | 道路整備事業(町道坂崎野場1号線) | 道路改築 |
| C 効果促進事業 | | | | |
| 番号 | 種別 | 事業者 | 対象事業 | 事業の内容 |
| 1-C-1 | 公共交通 | 幸田町 | 地域バス整備事業 | バス車両の購入 |
| 1-C-2 | 施設整備 | 幸田町 | 保育園施設整備事業 | わした保育園の園舎増築 |
| 1-C-3 | 施設整備 | 幸田町 | 小学校地震補強事業(新駅エリア) | 幸田小、坂崎小 外壁落下防止、強化ガラスサッシ交換 |
| 1-C-4 | 施設整備 | 幸田町 | 小中学校地震補強事業(幸田駅エリア) | 中央小、豊坂小、幸田中 外壁落下防止、強化ガラスサッシ交換 |
| 1-C-5 | 施設整備 | 幸田町 | 小学校教室等整備事業 | 幸田小学校の校舎内部改修 (教室2室増・職員室拡張) |
| 1-C-9 | 施設整備 | 幸田町 | 防犯カメラ整備事業(新駅周辺) | 防犯カメラの設置 |
| 1-C-11 | 普及促進 | 幸田町 | 電動アシスト自転車購入補助事業(新駅エリア) | 購入費の補助 |
| 1-C-13 | 施設整備 | 幸田町 | 幸田駅西第2駐車場整備事業 | パーク&ライド駐車場の拡張 |
| 1-C-14 | 調査設計 | 幸田町 | 区画整理促進調査 | 組合設立準備 岩堀・六栗・深溝里 |
| 全体事業費 | | | | 4,802百万円 |

社会資本総合整備計画（市街地整備）

| | | | |
|-------|--|------|-----|
| 計画の名称 | 1 コンパクトなまちづくりを進め、中心市街地のにぎわいの再生・創出と安全安心なまちづくりを実現する。 | | |
| 計画の期間 | 平成22年度 ～ 平成26年度（5年間） | 交付対象 | 幸田町 |



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称:コンパクトなまちづくりを進め、中心市街地のにぎわいの再生・創出と安全安心なまちづくりを実現する。 事業主体名:幸田町

チェック欄

| | |
|--|---|
| I. 目標の妥当性 | |
| ①上位計画等との整合性 | ○ |
| ②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) | ○ |
| II. 計画の効果・効率性 | |
| ①整備計画の目標と定量的指標の整合性 | ○ |
| ②定量的指標の明瞭性 | ○ |
| ③目標と事業内容の整合性 | ○ |
| ④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 | ○ |
| III. 計画の実現可能性 | |
| ①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) | ○ |
| ②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) | ○ |